

北九州地区弓道連盟  
会長 大原 壽矢子

## 弓道活動時における事故発生で注意喚起

令和5年3月6日に北九州市立勝山弓道場において、竹矢での練習中に矢が割れていることに気が付かず、離れで竹矢が破損、砕けた矢の一部が腕に刺さり、近くの病院に行って手術を受けるという事故が発生しました。

すぐに近くの病院に行って治療を受けたことで、経過は良好ながら、一週間の入院予定となりました。

弓道連盟としてもこの事故を重く受け止め、「弓道活動における事故報告書」を全日本弓道連盟に本日送りましたが、弓道を志す会員に対して注意を喚起し、二度と事故が起こらないように危険に対しての心がけを持っていただくようお願いする次第です。

今回の原因は粗悪な竹矢を使ったために発生した事例であり、指導者も竹矢を初めて使用する人に対しての指導が十分でなかったことにも一因があると思われます。

弓具の点検はもとより、日頃の何気ない所作でも事故につながることを各自が理解、実践することで思わぬ事故を未然に防ぐことは可能です。

各道場長におかれましては、改めて事故防止対応の周知徹底をお願い致します。